

(様式第10号)

2021年度 平和堂財団環境保全活動助成
夏原グラント 事業報告書

団体名 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト

事業名	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	
助成額	450,000円	
実施期間	2021年4月1日 ~ 2022年3月31日	
事業の内容	<p>4月：大津市広報とシガマンマによる田植体験等イベント広報</p> <p>5月：COVID19で田植体験中止し、LINE活用による「おうち de 古代米プロジェクト」に変更し実施</p> <p>6月：ニゴロブナ稚魚2万尾放流、棚田施肥</p> <p>7月：外来種アレチウリ駆除</p> <p>8月：田んぼの生き物探し実施</p> <p>9月：田んぼでカヤネズミの営巣確認</p> <p>10月：稲刈イベント実施。脱穀作業</p> <p>11月：収穫祭実施、古代米販売開始</p> <p>12月：カブトムシ産卵床作りを公募して実施、事業者による公園法面整備事業の竹刈の一部を活用に変更して実施</p> <p>1月～2月：棚田整備一畦補修、水路整備</p> <p>3月：堆肥づくり、荒起こし実施</p>	
成果	環境保全への影響	<p>○ササユリを公園内のササユリゾーンに移植から5年目となり、やっと2輪ほどの開花が見られました。来年は更に多くの開花が期待できます。</p> <p>○田んぼの一部を「田んぼビオトープ」として保全したことにより、体験イベント「田んぼの生き物探し」では6家族19名の参加で生き物の棲息を確認し、大人も子供も里山保全の重要性を再認識しました。</p> <p>3月からはまた新たなビオトープも整備しています。</p> <p>○稲刈体験の中止に伴い「おうち de 古代米」プロジェクト(古</p>

		<p>代米バケツ栽培) を立ち上げ、HP、LINE、しがマンマなどで呼びかけ市外からの参加者を含め 26 家族の参加がありました。また、LINE での生育の投稿を呼びかけ「いいね！」投票を行いました。</p> <p>えくぼ保育園、真野幼稚園、ウィルインターナショナルスクールも団体として参加しました。この取り組みを発端に地域の多くの子供たちの食育にも貢献できました。</p> <p>○カヤネズミは滋賀県では希少種としてレッドデータブックに掲載されている。稲刈体験ではカヤネズミの巣と数頭の動き回るカヤネズミの姿を確認した。田んぼ上部をカヤネズミ保護エリアとしていることがこの発見に繋がっていることを認識し、更に保護エリアの拡大を図っていきます。</p> <p>○開始から 5 年目となるカブトムシ産卵床づくり。本年から家族での参加を呼びかけ 2 家族 5 名の参加がありました。140 匹の幼虫の生育を確認しました。次年度以降も家族の参加を呼び掛けて行きます。</p> <p>○公園内の広場に大きな木陰を作り子供たちの憩いの場であった樹齢 100 年と推察されるアカメヤナギが何の予告も無しに伐採されてしまいました。このフィールドで活動しているえくぼ保育園などとともに滋賀県都市計画課に今後このようなことが無きよう要請しました。</p> <p>○公園内の侵略的外来生物アレチウリを発見し、その駆除を行いました。生物多様性保全と同じように外来生物の駆除は重要な活動の一つです。</p>
	<p>県や地域への波及効果</p>	<p>○農業体験を通して会員の増加を図る</p> <p>田植体験イベントや LINE での情報発信を通して数人が「助っ人」として活動に参加しています。</p> <p>本会の活動を広く伝え多くの新会員を獲得するべく新たにチラシも作成しました。</p> <p>イベントや「助っ人」募集での参加を機に里山での活動に賛同し入会する方も増えています。</p>

		<p>○黒米販売は4年目となり大津市ふるさと納税の販売は大きく伸びています。次年度からは「大津市若者に対する転入記念品贈呈等事業」の贈呈品として採用されることになりました。</p> <p>農福連携を視野に、黒米袋詰をB型就労施設に委託し、三寺マルシェなどで販売や、新たな委託販売先も増えています。</p>
	<p>活動団体の次への展開</p>	<p>新たな試みとしてLINE情報発信の活用により「おうちde古代米」「助っ人募集」など、若い働く世代に発信し、多くの参加者が生き物の多様性を守ること、棚田作業の苦勞と楽しさを理解し、活動への参加機運が高まっていることを実感しました。</p> <p>この機運を定着するため、次年度から「ファミリー会員」制度を新設するなどして魅力ある情報発信を行います。</p> <p>また、シニア世代の経験、知見の活用は重要です。体力に応じた活動方法を考慮したシニア会員の増加を目指します。</p> <p>B型就労支援施設との連携の経験を発展させ、農福連携の在り方を具体的に追及する必要があります。</p> <p>SDGsの盛り上がりはこの活動への追い風です。企業・団体の賛助会員集めに注力します。</p>
<p>今後の課題</p>		<p>財政面では、2021年の棚田に於けるや諸活動に延べ385人が参加しました。これらは会員の善意の活動によって成り立っています。本年度は旅費の一部しか支払うことができませんでした。販売収入が伸びているとはいえ、更に多くの収入が必要です。継続して生産の効率化、販路の拡大など収入増をはかるため新商品を開拓していきます。</p>

※ 行数は必要に応じて伸ばしてください。ただし3ページ以内です。

※ 写真やチラシなど成果物を添付してください。

様式第10号 添付

【4月】

発根したササユリの移植、前年に採種したササユリの種まきを行いました。



崩壊した畦の修復作業を行いました。



総会を実施しました。



田植えの準備を行いました。畦塗りを行っています。



【5月】

いべんと伝言板

市民のみなさんが参加するサークル・団体などが市内で行う催しの情報を掲載しています。

※各記事中の👤は参加費です。

◆**棚田の田植え稲刈り等体験** ▷5月30日=田植え▷8月1日=田んぼの生きもの探し▷10月17日=稲刈り▷11月14日=収穫祭と黒米玄米配布。いずれも日曜10時～、堅田の春日山公園(真野谷口町)南側の棚田で。👤1家族(5人まで)5,000円(全4回分)。要申込。棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト富田☎090-1142-4598

家族で里山の環境学習★棚田の田植え、稲刈り、鮎放流体験を通して身近な環境について考えよう！全4回【大津市真野】

棚田・里山・古代米・鮎プロジェクトでは、古代米栽培や養鮎事業をとおして生き物の多様性、食の安全の学びの場を提供しています。2020年度も、田植え、鮎の放流、稲刈り、収穫祭と全4回企画されています。



なかなか経験する機会が減ってしまった田植えや稲刈りという経験。体験や経験は一番の学びになるとも言われています。ご家族で参加できますので、みんなで身近な環境について考えるきっかけにもなりますね。ご興味のある方は、ぜひ、公式サイトにてプロジェクト詳細をご確認ください。

【2020田植え等体験】

- ①2020年5月17日(日) 田植え体験
- ②2020年7月19日(日) 鮎放流と自然観察会
- ③2020年10月4日(日) 稲刈り体験
- ④2020年11月1日(日) 収穫祭と黒米玄米配布

時 間：各回10：00～

場 所：県営春日山公園 南側の棚田(大津市真野谷口町)

参加費：1家族(5人まで) 5,000円(全4回分) 個別参加費

は1家族(5人まで) 1,500円

※天候や社会情勢により予定が変更になることがあります。

お申し込みフォームは [こちら](#)

■お問い合わせ

[棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト](#)

大津市広報と

イベント発信サイトシガマンマにて

イベントの告知を行いました。

また LINE 公式アカウントを開設しました。



田んぼの荒起こし前に草刈りをして刈草を焼却しました。

有機肥料を施し、荒起こしを行います。

ササユリの成長も見られました。



COVID-19 感染拡大予防のため、田植えイベントはやむなく中止としました。
 代替イベントとして「おうち de 古代米プロジェクト」を企画し、17 個人 3 団体
 へ計 400 株の古代米苗の配布を行いました。

#おうち de 古代米プロジェクト

棚田で育てている古代米「さよむらさき」の苗をプレゼントします。
 各ご家庭で、お米のバケツ栽培を体験していただけます！
 多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

5月28日(金)までに
お申込みください!!

苗のお渡しは、
5月30日(日) 10:00~12:00 春日山公園時計台のある駐車場にて
お申込、お待ちしております♪




#おうち de 古代米プロジェクト ご参加の皆さんへ

この度は、当プロジェクトにご参加いただきありがとうございます！
 今回お渡しした苗は、古代米品種の「さよむらさき」というお米です。

皆さんのお米づくりの様子を、棚田 de 古代米プロジェクトの LINE 公式宛に送ってください！
 送っていただいたレポート（写真や絵、コメントなど）は、
 LINE 公式のタイムラインや HP で随時ご紹介させていただきます。

自慢話、相談や失敗談、家族で頑張る様子などなど、あなたのおうちや施設でのお米の様子を、
 どしどしお寄せください！何度でも大歓迎！

プロジェクト参加者どうしてつながり、情報交換しながら、**#おうち de 古代米プロジェクト**
 をより一層楽しんでいきましょう♪

また、ご自身が SNS でお米づくりの様子を投稿することがありましたら、その際にはぜひ、
#おうち de 古代米プロジェクト を入れて下さると嬉しいです。

おうちでのお米づくり、きっと新しい発見がたくさんあると思います。
 ご家族や施設で…楽しいひとときをお過ごし下さい！

★棚田 de 古代米プロジェクト
LINE 公式アカウント

まず友だち追加!!

お米づくりのレポートはこちらから送ってください！
 送っていただいた写真は LINE 公式タイムラインや HP で
 ご紹介させていただきますので、
 写真を送っていただく際には、予め写っている方への承認
 をとっていただきますようお願いいたします。

LINE 公式のタイムラインでのお米づくりレポート紹介記事への
 「いいね！」総数が多かった上位 3 名の方には
 粗品を進呈します♡

About Us

私たちは、主に春日山公園隣接の棚田で古代米栽培を行っています。
 その他、里山保全活動や生き物観察、竹林整備、カブトムシ産卵床の設置、
 ササユリ復活などにも取り組んでいる市民グループです。

自然と人が共生する場である棚田。
 その、日本の原風景とも言える棚田を次世代に残していくためには、
 まず「存在を広く知ってもらう」ことが第一歩！
 そのような思いで、田植えや稲刈り体験や自然観察会などのイベントを行っています。
 今回のプロジェクトも、そのひとつとして行っているものです。

今年度の田植えイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止となりましたが、
 また皆さんと棚田で一緒にできることを楽しみにしています！
 ~ 棚田 de 古代米プロジェクト ~

バケツでの稲の育て方は、文章や動画など
 色々なところで紹介されていますので、
 ご自分に合うやり方で挑戦してみてください！
 こちらのページでもいくつか紹介しています。

QRコード

★ ホームページ URL

棚田でのお米づくりの様子はこちらで発信中！
 バケツ栽培のお米の様子と比べてみよう！

「おうち de 古代米プロジェクト」では参加者からのお米づくりレポートを募集し HP にて公開、
 コロナ禍において対面での交流イベント開催が難しい中、別の形での参加者どうしの情報交換、交流を模索しました。



荒起こし後の田んぼでは、
 代掻きの後、縄張りを行った上で
 田植え作業を行いました。



【6月】



ニゴロブナの稚魚2万尾を放流しました。



11月の収穫祭に向けて、サツマイモ（鳴門金時）の蔓苗を植え付けました。



棚田では水田雑草コナギの除去作業が始まりました。



ササユリが開花、美しい花を咲かせています。

樹上にはモリアオガエルの卵塊を確認しました。



【7月】

公園内の広場に大きな木陰を作り子供たちの憩いの場であった樹齢 100 年とも推察されるアカメヤナギが、何の予告も無しに伐採されてしまいました。

このフィールドで活動しているえくぼ保育園などとともに滋賀県都市計画課に今後このようなことが無きよう要請しました。



伐採されたアカメヤナギ

棚田の太陽光パネルシステムをリニューアルしました。獣害対策の電気柵の電源として利用しています。



公園内の侵略的外来生物アレチウリを発見し、その駆除を行いました。



除草した水田雑草コナギを食す試みをしました。

無農薬栽培の稲作では、水田雑草の除去に多大な労力を費やします。

雑草量を減らしたり、有効活用をしたり出来ないものか、探っています。

棚田ではカワセミを確認しました。



【8月】

田んぼの一部を保全してつくった「田んぼビオトープ」で、体験イベント「田んぼの生き物探し」を行いました。
6家族19名の参加で生き物の棲息を確認し、大人も子供も里山保全の重要性を再認識しました。



8月中旬、出穂、開花を確認しました。



長雨により畦が崩壊。修理を行いました。



芋畑の除草。2名の助っ人に来ていただきました。



【9月】

棚田では稲穂が頭を垂れ始めました。



希少種カヤネズミの巣を発見しました。

陽当たりを考慮して、太陽光パネルを移動させました。



【10月】

稲刈りの準備のために水田の水を抜くにあたって、ピオトープに鮎、メダカの退避場を造りました。



稲木を立て、稲刈り、稲架を行いました。
2名の助っ人に来ていただきました。



稲刈りイベントには、5家族17名、スタッフを含め計24名が参加しました。

途中、カヤネズミやマムシなどの遭遇の場面もあり、参加者にとって大変思い出深い1日となったようです。



下旬には脱穀作業を行いました。この日も2名の助っ人に来ていただきました。

イベントや助っ人を機に里山での活動に興味を持ち入会する人も少しずつ増えています。



【11月】

収穫祭を行いました。5家族17名、スタッフを含め計24名が参加しました。

わら細工づくりや、わら縄を使った大縄跳びや輪投げなどの遊び、

芋ほり、焼き芋、収穫した古代米の試食などを楽しんでいただきました。

おうちde古代米プロジェクトの結果の発表も行いました。





メンバー募集中!

相田 de 古代米プロジェクト

About Us

私たちは、主に春日山公園隣接の棚田で古代米栽培を行っている市民グループです。里山保全活動や竹林整備、カブトムシ産卵床の設置、田んぼビオトープづくり、ササニリ復活などにも取り組んでいます。

自然と人が共生する場である棚田。その、日本の原風景とも言える棚田を次世代に残していくためには、まず「存在を広く知ってもらう」ことが第一歩！そのような思いで、田植・稲刈体験、自然観察会などの環境学習イベントも開催しています。

【活動日時】 月2回例会を開催（第1土曜、第3月曜）
例会日以外も随時作業日を設けています。
【活動時間】 9時半～14時頃（活動内容により変動あり）
ご自身の都合にあった日時で活動に参加していただくことが可能です！
【活動場所詳細】 埼玉県春日山公園隣接の棚田
道案内：大津市内 JR 聖田駅から徒歩15分
車の場合は公園駐車場（無料）を利用できます。
【年会費】 3,000円
【その他】 収穫した古代米（黒米玄米）の配布があります。

Join Us

棚田の保全活動に、幅広い世代の多くの市民が関わっていくことで、イキイキとした地域社会を実現したいと考えています。土に触れ、鳥たちの声に癒されながら、自然の中で一緒に汗を流しませんか？まずはお気軽にお問い合わせください！

▶ 団体名称：棚田・里山・古代米・棚プロジェクト
▶ 連絡先：tanada_kodoinoi@gmail.com
▶ 住所：大津市大津4丁目1-1 明日都大津 1階市民活動センター内

QRコード：LINE公式アカウント / ホームページURL / イベント情報発信中 / 友だち追加お願いします / 活動の様子を随時更新!

11月より、収穫した古代米の販売を開始しました。



本会の活動を広く伝え、多くの新会員を獲得するべく新たにチラシも作成しました。

【12月】

開始から5年目となるカブトムシ産卵床づくり。本年から家族での参加を呼びかけました。

140匹の幼虫を確認。沢山の幼虫との出会いに目を輝かせている子どもたちの様子が印象的でした。

カブトムシ産卵床づくり ~カブトムシ幼虫を観察してみよう!!~

#棚田 de 古代米プロジェクトでは、冬に春日山公園内の落ち葉を集め、「カブトムシ産卵床づくり」を行っています。その行程の中で例年、カブトムシの幼虫が観察され、「生き物好きな子どもたちが見たら喜ぶだろうなあ!!」と、思いつつ、「おっちゃんおばちゃん」だけで 淡々と作業をしています。

☀️
そこでっ!

→ 今回、カブトムシ産卵床づくりをゆるっとオープン企画にします♪



★ こんなことするよ! ★

- 落ち葉をいっぱい集めて産卵床づくりの場所まで運びます。
↑↑カ持ちのお父さん・お母さんのお手伝い、熱烈歓迎!
- ふかふかの落ち葉をふみふみして、来シーズンのカブトムシの産卵床をつくります。
↑↑落ち葉からきた腐葉土(ふようど)が幼虫たちのエサになるよ!
- 前シーズンの産卵床で育ったカブトムシの幼虫がいたら、そーっと観察してみましょう!
…どんな姿かな?

- ◇日時 2021年12月4日(土)
- ◇集合場所 春日山公園 万葉ゾーン(案内板参照)
トイレそばのあずまやに9時50分に集合
- ◇持ち物 汚れてもいい服装、着替え、軍手、飲み物
- ◇募集人数 限定3家族程度
- ◇参加費 無料



- ・終了後、ご希望の方には、春日山公園隣接の棚田にご案内します。
- ・里山保全活動の一環のため、作業中に見つけたカブトムシ幼虫はお持ち帰りいただけません。
- ・自然相手のことなので、幼虫がもしいなかったらごメンナサイ。(↑例年はいます…)



2家族5名、スタッフ含め計11名が参加しました。



【1～2月】

畦の補強や、棚田周辺の水路整備を施行、
次年度の米作りに向けての準備を行いました。



陥没した水路の整備補強、暗渠パイプの埋設の様子です。



【3月】

長浜市木之本の (株)大翔 様 のご支援ご協力をいただき 10 番田のビオトープ作りを実施しました。



春に向けて、堆肥づくりや荒起こしを行いました。

